

第 5 学年 学級活動（ 2 ） 指導案

- 1 題材 ひとりよがりの使い方にならないように
〈ウ 望ましい人間関係の形成〉

2 特に意識したい道徳的価値

誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすること。

B - (7)

3 題材について

インターネットは大変便利で、私たちの生活になくてはならないものになっている。携帯電話やスマートフォンの所有率が高くなってくると、友達との仲間意識を高める目的で必要以上に連絡を取り合おうとする児童の姿が見られる。その中で、インターネット上でのコミュニケーションの特性を十分に理解しないで利用した結果、トラブルに巻き込まれる可能性がある。SNS等は、習い事の連絡をしたり、休日に遊ぶ相手と連絡を取ったりする際には便利であるが、発信したメッセージは必ず相手がすぐに確認できているとは限らない。また、相手がメッセージを読んでも、返信できないこともある。このような状況を考えず、相手がいつでも利用できるという意識でいると、返信がすぐにこないことに不満を抱いてしまい、そのことが原因でトラブルが起こる。インターネットを利用できない場所や利用しない場面等があることを理解させ、相手の立場や気持ちを思いやる心を持つなど、情報発信について気をつけなければならないことを考えさせる必要があると考え、本題材を設定した。

本学級の児童にアンケート調査をした結果、ほとんどの児童がインターネットを使うときには、自分や親のスマートフォンやパソコンを使っていることがわかった。また、それらの機器を使って誰かとコミュニケーションをとったことがあるという児童は、全体の 85% を超えていた。主には習い事の連絡やオンラインゲームでのやりとりをしており、少数だが知らない人とも交流をしている児童もいることがわかった。また、クラスの約半数の児童がLINEを使用したことがあると回答しており、今は困ったことや悲しくなったことはないと感じている児童も、今後、何らかのトラブルに巻き込まれることも予想される。これらの現状を踏まえ、目の前にいない相手とインターネットを通してやりとりする上で、気をつけないといけないことを正しく理解させていくことが大切だと考える。

指導に当たっては、「つかむ」では、インターネットを使用する上で便利な点を押さえつつ、危険なことや困ったことも起こることに気づかせ、インターネットでやりとりするときに気をつけることを考える意欲を持たせる。携帯電話やスマートフォンを所有していない児童も、近い将来使う可能性が高いというデータを示し、前向きに取り組めるように配慮する。「さぐる」では、登場人物の気持ちを考えながら動画を視聴させ、相手の状況や気持ちを考えず、返信がなかったことから誤解が生じ仲間外れが起こったことを振り返る。インターネット上では、相手の状況がよく分からないこと、誰でも返信したくてもできないことがあることを理解させる。「見つける」では、インターネット上でみんなが気持ちよくやりとりするための方法を班で考えさせ、更に学級全体で考えを深め広げるよう配慮する。「決める」では、板書を参考にして、自分に合った具体的な方法で自己決定ができるように働きかける。学習の最後には、日常においても通じることがあることを伝え、思いやりの気持ちを持って生活できるようにさせたい。

4 第5学年及び第6学年の学級活動（2）の評価規準

観 点	集団活動や生活の 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活について の知識・理解
評 価 規 準	自己の生活の充実と向上にかかわる問題に関心を持ち、自主的に日常の生活や学習に取り組もうとしている。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、日常の生活や学習の課題について話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を考え、判断し、実践している。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくることの大切さ、そのための健全な生活や自主的な学習の仕方などについて理解している。
目 指 す 児 童 の 姿	<p>○インターネットでのやりとりをする際に気をつけることを理解し、日常生活にも活かそうという気持ちを持って生活できる。 【関心・意欲・態度】</p> <p>○資料の中の登場人物についての問題点を考えることを通して、相手のことを考え、思いやりの気持ちを持ってインターネットを適切に使用することができる。 【思考・判断・実践】</p>		

5 活動と指導の見通し

	活動内容	いつ	指導上の留意点・資料	目指す児童の姿と評価方法 ・評価【観点】（方法）（☆） ・授業改革10の視点（★）
事 前	<ul style="list-style-type: none"> 「SNSとは何か」についての事前学習を行う。 「事前アンケート」を実施する。 	11月14日 (火) 11月15日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> 代表的なSNSについて種類や特徴について理解できるようにする。 SNSをはじめ、インターネット環境の実態調査（児童） 	★①魅力的な課題・教材の提示
本 時	・協同思考による、個人目標の設定	12月7日 (木)	本時の展開参照	本時の展開参照
事 後	<ul style="list-style-type: none"> 学級通信等で学習について家庭に伝える。 自分が決めた目標について1週間後に振り返りカードを書き込む。 	12月8日 (金)	・自己決定カード	☆【思考・判断・実践】 ・自分の決めたことを実践し、日常生活の中にも活かそうと努力している。 （観察・チェックカード） ★⑧学習を振り返る活動の設定

6 本時の指導

(1) 本時のねらい

インターネットは、いつでもどこでも利用できるとは限らないこと、対面ではないコミュニケーションは誤解によるトラブルが生じやすいということを理解させ、相手の状況や気持ちを考え、思いやりを持って接する態度を養う。

(2) 本時の展開

段階	学習活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法 ・評価【観点】(方法)(☆) ・授業改革10の視点(★)	資料等	時間
つかむ	1 アンケートの結果を確認する。 ・携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットをしている人がいる。 ・インターネット上でのやりとりで困ったことになった人がいる。	○インターネットを使用する上で便利な点を押さえる。 ○年代別のSNS利用状況のデータを提示し、SNSをあまり利用していない児童にとっても、近い将来利用する可能性が高いことに気付かせる。	☆【関心・意欲・態度】 自分の課題として問題意識をもっている。 (観察・発言)	・アンケート集計結果 ・年代別SNS利用状況データ	8分
	みんなが気持ちよくSNSでやりとりする方法を考えよう				
	2 本時の学習でめざすゴールを理解する。	○ワークシートを持ち帰り、学校だけの学習で終わらせるのではなく、話し合ったことや考えたことを家でも話し合うように伝える。		・ワークシート拡大版	
さぐる	3 導入動画(5分)を視聴し、トラブルの原因を考える。	○資料の登場人物の気持ちを考えながら視聴するように促す。 ○相手の状況や気持ちを考えず、返信がなかったことから誤解が生じ仲間外れが起こったことを確認する。	★①魅力的な課題 ・教材の提示	・インターネット動画資料	10分
	4 どのようなときに携帯電話やスマートフォンが使えないのかを考え、発表する。 ・使ってはいけない場所 ・使わない方がいい場面(人によって異なる) ・使いたくても使えない状況	○インターネット上では相手の状況がよく分からないことを確認する ○誰でも、返信したくてもできないことがあることを確認する。			

見つける	5 インターネット上で、みんなが気持ちよくやりとりするための方法を考え、発表する。	<p>○班で考えた解決方法を短冊に書いて提示し、自己決定の参考になるようにする。</p> <p>○相手が返信できないこともあることを前提に考えさせる。</p> <p>○やりとりの内容も気を付けなくてはいけないことも押さえる。</p>	<p>★⑤説明・発表の機会の充実</p> <p>★⑥学び合う活動の充実</p>		17分
決める	6 これからインターネット上で友達とやりとりをするときに気を付けたいことを決め、発表する。	<p>○板書や友達の意見を参考にして、自分に合った具体的な方法が決定できるようにする。</p> <p>○日常生活でも友だちと思いやりの気持ちをもって過ごすことができるように話をする。</p>	<p>☆【思考・判断・実践】</p> <p>自分の課題にあった実行可能な方法を考えている。</p> <p>(観察・ワークシート)</p> <p>★⑧学習を振り返る活動の設定</p>	・ワークシート	10分

(3) 事後指導

- ・本時の学習内容を保護者に伝え、インターネット機器の利用について話し合い、家庭のルールを決めるように伝える。
- ・学習内容を学級通信で家庭に伝え、家庭での様子のコメントをもらう。
- ・保護者からのコメントを朝の会や帰りの会等で紹介し、学んだことを振り返らせるとともに、実践の継続化につなげる。

7 板書計画

よりよいコミュニケーション

④ みんなが気持ちよく SNS でやりとりする方法を考えよう

つかむ

アンケート結果

さぐる

友達から返事がこない
↓ (家でのルール)
なんで私たちのルールを守らないの
↓
ルールを守らないから仲間外れにしよう

<使ってはいけない場所>
映画館、病院、授業
<使ってはいけない場面>
勉強中、食事中
<使いたくても使えない状況>
電波が届いていない
バッテリー切れ

見つける みんなが気持ちよくやりとりするためには

ルール 気持ち 内容

返信できないこともあるので気長に待つ

友達と無理なルールを作らない

インターネット上でも相手の立場や気持ちを考える

送ってよい内容かどうかを考える

決める

自己決定カード拡大版